



日本プライマリ・ケア連合学会
近畿ブロック支部 活動報告

発行人：支部長 外山 学
益田診療所

ニュースレター No. 5 (2013.12)

[地方会報告] 第27回近畿地方会 (9月8日)

この度、兵庫医科大学医師会と兵庫県プライマリ・ケア協議会の主催により、日本プライマリ・ケア連合学会第27回近畿地方会を開催させていただきました。当日はあいにく小雨が降っておりましたが、会員の皆様には悪天候ものともせず多数参加していただきました。

今回は、多職種連携のための交流の場として、多職種の学生が学ぶ兵庫医療大学を会場として、「地域で絆(つな)ぐ、生命(いのち)と健康な暮らし」をテーマに、多くの関連団体の協力を得て開催することができました。

超高齢社会の現在、医療も様々な問題が山積し、厚生労働省は地域包括ケアの理念のもとに在宅医療の推進を図っています。その実現のためには多職種の円滑な連携が必須であります。今回の学会は、地域で患者や家族を支える上で課題となること、連携作りの貴重な経験、などの報告を通じて今後の活動の向上に役立つ知識や経験を共有する機会になったのではないかと考えております。 (*ページ2に続く)

大会長 立花久大 (兵庫医科大学内科学総合診療科)



予告!

第28回近畿地方会 「虹に向かって -明日への地域医療-」

- ・会期：2014年11月30日(日)
- ・会場：千里阪急ホテル (大阪府豊中市新千里東町 2-1)
- ・主催：豊中市医師会
- ・大会長：上辻 浩夫 (豊中市医師会 会長)

近畿ブロック支部 (KPCA :Kinki Primary Care Association) について

近畿ブロック (滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県) に所属する学会会員で構成され、ブロック代議員会を最高議決機関としています。

ブロック支部会費は必要ありません。日常的な運営は幹事会が行っています。

- ・支部長：外山学 (学会理事)
- ・副支部長：雨森正記 (学会理事)、大島民旗 (学会理事)、戸田和夫
- ・幹事：朝倉健太郎、足立光平、梶山泰男、木戸友幸、小泉俊三、空地頭一、高木幸夫、武田以知郎、羽野卓三、福原俊一、松村理司、水野融、三ツ浪健一
- ・監事：大島久明、澤木政光



(*ページ1から続く)

学会は開会式にて兵庫県医師会常任理事 豊田俊先生の開会宣言に始まり、来賓の方々より丁寧な御挨拶をいただきました。その後の会長基調講演においては、大学病院の総合内科/総合診療科に勤務する者として大学病院総合診療科あるいは総合内科の現状と今後のあり方について私見を述べさせていただきました。

特別講演1では武藤芳照先生より中高年の健康増進のための運動指導について、2では平松愛理様にオリジナル曲「花と太陽」とその歌にまつわるお話を、3では数井裕光先生より認知症診療のための地域連携について、4では落語の世界からみた昔の日本の医療について、といずれも興味深い貴重なご講演をいただきました。また教育講演としては神戸大学より「総合内科」「慢性腎臓病」、兵庫医科大学からは「栄養管理」「糖尿病」をテーマとしてその方面でご活躍の先生方にご講演いただきました。さらに多くの職種の方々にシンポジウム、ワークショップを組んでいただき活発な討論が行なわれました。



医療に関係するすべての職種の方が集まり、まさにプライマリ・ケア連合学会の面目躍如という感がありました。もちろん一般講演につきましても、多分野の方に素晴らしい御演題を發表いただき、明日からの医療向上につながる貴重な機会になったと確信しております。

最後になりますが、本地方会開催にご支援・ご協力を賜りました各団体・個人はもとより、日本プライマリ・ケア連合学会の皆様、そして関係各位の皆様に深甚の謝意を申し上げます。

[会議報告] 近畿ブロック支部代議員会 (9月8日)

近畿ブロック支部長 外山 学(益田診療所/大阪府門真市)

例年どおり、近畿地方会の昼休みの時間帯を利用して、近畿ブロック支部代議員会が開催されました。代議員の主席者は、37名でした。

最初に、今年度近畿地方会の主催者を代表して、川島龍一代表幹事(兵庫県プライマリ・ケア協議会)、及び立花久大教授(大会長)からのご挨拶があった後、来年度地方会を主催される



上辻浩夫会長(豊中市医師会)がご挨拶されました。続いて、再来年度地方会の準備状況について、武田以知郎幹事(近畿ブロック支部:奈良県)より説明がありました。その後、本部役員として丸山泉理事長の代理で出席された、総務担当の矢澤一博理事を交え、活発な意見交換が行われました。



【勉強会報告】 関西家庭医療ベーシックセミナー2013 (8月31日・9月1日)

竹中 裕昭 (竹中医院／大阪府大阪市)

関西家庭医療ベーシックセミナーは、毎年夏に関西の家庭医がボランティアで集い、家庭医療のベーシックスキルを低学年学生にもわかりやすく伝えようとする試みである。マッチング、国家試験対策を含めた初期研修の受け方セッションや、研修・ポートフォリオ・試験が専門医への3stepという家庭医療専門医の取り方セッションをはじめ、若手家庭医からベテラン家庭医まで、それぞれの持ち味を活かしたセッションを展開していただいた。特に今年は、医学生による医療面接セッション、ハワイ大学老年内科所属経験医師らによる老年医学セッションが行われ、参加者も医学生、医師、薬剤師、看護師と多彩な顔ぶれがそろったのが特徴であった。



高齢者とのコミュニケーションは、敬意をもち、小学生中学年(3~4年生)でもわかる内容を意識し、個々の価値観や多様性に配慮しつつ、全身で伝えるように心がけること、ジェネラリストの診察は、緊急性、重症度、致死性、頻度を考慮すること、小児診察は、家族背景をとらえて診察することなど、多くの診療のコツも伝授された。

来年以降も多職種の参加を募りながら、低学年学生でもわかるセミナーを目指して継続していきたい。
(開催場所：大阪市立大学医学部)

【勉強会報告】 万葉衆 (奈良家庭医療研究会) ポートフォリオ発表会 (12月1日)

朝倉 健太郎 (健生会 大福診療所／奈良県桜井市)

奈良家庭医療研究会第14回「万葉衆」が天理よろづ相談所病院にて開催されました。

参加者は総勢25名、レギュラーメンバーに加え医学生、研修医並びに看護学生、看護師、薬剤師、管理栄養士と幅広い職種の参加となりました。県内はもちろん、滋賀県、三重県、そして遠くは宮城県!と、地域を越えた参加にはレギュラーメンバーも驚きを隠せません。

今回、年度末に行われる近畿ブロック後期研修医ポートフォリオ発表会に先駆けて、万葉衆でもポートフォリオ発表会に取り組むこととなりました。研修医にとって個々の学びを他施設の指導医から指導される機会は少なく、ポートフォリオ発表会は貴重な教育の場であるともいえます。発表者は印象的な事例、困難を要した事例など、個々の学びと照らしあわせたプレゼンテーションを行い、共有しました。併せて8演題の発表がありましたが、1演題20分前後と比較的ゆとりをもたせ、フィードバック用紙も活用しながらディスカッションを深めました。発表者からは「感情や学びを言語化することの大切さと難しさを知りました」といった意見が、参加者からは「ポートフォリオを積み重ねて成長していく過程がよく分かりました」「気づきを具体的な行動に移している大切さを教えてもらいました」などの感想がありました。



ポートフォリオは後期研修医のためだけではなく、学生、初期研修医、ベテラン医師の生涯教育にとっても、また他の職種にとっても大きな効果がありそうです。また発表後のディスカッションや指導医の建設的なコメント自体が、指導医にとっての勉強になるようで、各施設での後期研修医教育での効果も期待できそうです。次回は2014年早春開催予定(内容は未定)、みなさまご参加お待ちしております!

【ご案内】地域支部・グループ研究活動に対する補助の公募

(2013. 6. 30 一部改定部分を下線で表示)

近畿ブロック支部では、府県単位での地域支部活動や、さまざまなグループ活動を積極的に支援するために、補助を行っています。申請用紙(事務局にご請求下さい)は簡便に作っておりますので、お気軽にご応募下さい。今後も適宜改訂していきますので、より良いしくみにするためのご意見などもお願いいたします。

(1) 補助の要件

- 1) 主催者が日本プライマリ・ケア連合学会(以下、学会)の会員であること
- 2) 近畿ブロック支部の活動の趣旨に沿っていること。ただし、単なる懇親会は補助の対象外とする。

＜参考＞ 日本プライマリ・ケア連合学会 近畿ブロック支部会則

第3条 本会は、近畿ブロックにおけるプライマリ・ケアに関する学術の進歩、知識の普及ならびに人材の育成を図り、プライマリ・ケアの充実および向上に寄与することを目的とする。また、人々が健康な生活を営むことができるように、地域住民とのつながりを大切にした、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践及び学術活動を行うことを目的とする。

- 3) 学会本部や製薬会社など、他の主体からの補助や協賛と重複していないこと。(大学や病院、医師会等の関係団体による支援は可)
- 4) 補助金の振り込みを受けるための銀行口座を有していること(個人名義で可)
- 5) 学会近畿ブロック支部から補助を受けていることについて、案内文書に記載するか当日アナウンスを行うこと。可能であれば、学会への入会勧奨をすることが望ましい。

(2) 申請の手順

- 1) 申請にあたっては、所定の書式に準じた申請書を提出すること。開催前の申請で、その時点で記載及び添付不可能な項目がある場合は、会合終了後に遅滞なく当該事項について提出すること。尚、補助金の用途を明記し、対応する領収書のコピーを添付すること。
- 2) 申請書2枚のうちの1枚は、学会本部へ「専門医・認定医研修講座」又は「認定薬剤師研修講座」の企画書を提出している場合(すなわち専門医・認定医、認定薬剤師の単位を申請している場合)、そのコピーをもって代えることができる。
- 3) 報告の形式は、近畿ブロック支部ニュースレターへの原稿提出とする。又、交流推進のため、地方会での一般演題発表も歓迎する。

(3) 補助額

- 1) 基本活動補助費(同一主催者には年1回のみ)として、学会会員10名未満の会の場合1万円、学会会員10名以上の場合3万円を補助する。
- 2) 会合1回ごとのオプションとして、都道府県など一定地域(あるいは職種等の一定範囲)の全会員に案内を送付する場合、ブロック支部事務局より名簿を提供し、当該府県(職種)分の案内人数分の郵送料(80円/人)を補助する。尚、名簿の提供は、郵送物発送のための必要最低限の形式とし、申請者は「当該勉強会の案内以外の目的で名簿情報を利用しない」旨の文言にサインするものとする。

支部からのご連絡

ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております! また、会員の方の関係した講演会等の案内欄を設けております。掲載を希望される方は、1)日時、2)会場、3)講演会名、4)講演会の対象者、5)演題と演者、肩書き(主要なもの1つ)、6)主催者(及び共催者)、7)連絡・問い合わせ先、8)HP(あれば)、9)事前申込の要否、10)参加費用、11)取得可能単位を事務局までメール又はFAXでご連絡下さい。尚、原稿締切日とニュースレター発行日は、2月20日〆切→3月下旬発行、5月20日〆切→6月下旬発行、8月20日〆切→9月下旬発行、11月20日〆切→12月下旬発行となっております。学会及び支部の精神に則り、会員に役立つ情報提供をよろしくお願いいたします。